

3月定例議会

行政報告 (1)

平成31年3月定例議会は、2月28日に開会し、3月14日までの会期で開かれました。議会初日には、行政報告、上程された各議案の大綱質疑、また、4日と5日には一般質問が行われました。6日からは、各常任委員会で付託された議案を審査し14日の最終日に採決が行われました。

3月定例議会の行政報告の概要についてお知らせします。

総務部関係

総務課

平成30年度職員採用試験（追加募集）は、大学卒業程度一般行政5人、土木技師2人を合格者として告示しました。

防災ラジオを、貸与申し込みのあった市民や事業所等に対し12月3日から配布を開始しました。

米代川大規模氾濫時の住民避難を想定したタイムライン（行動計画）に関するワークショップの事前説明会が、1月18日に国土交通省能代河川国道事務所と北秋田市の合同で行われました。また、ワークショップが、2月8日に開催され、災害体制における庶務班、救助班、文教室が参加し、タイムラインの深度化を図りました。北秋田市空家等対策協議会が、1

月29日に開催され、特定空家等の判断・認定について協議を行い、特定空家等として3件認定しました。

総合政策課

秋田県等主催のAターンフェアin秋田が、12月30日に秋田拠点センターアルヴェで開催され、企業51社、県内6市町村等とともに出席し、秋田県への就職と移住を検討している帰省客や学生等約400人の来場のもと、本市の制度や北秋田暮らしの情報を提供しました。

高校生と語る北秋田市をテーマに市長と語ろう！タウンミーティング（第2回）を12月26日に市民ふれあいプラザで開催し、トラ男プロデューサーの武田昌大さんをナビゲーターに、市内で生まれ育った高校生2年生10人とともに市に対して考えていることや感じていることを本



▲高校生と語り合った市長と語ろう！タウンミーティング

音で語り合い、一般傍聴者からも意見を述べてもらうなど、来場者参加型の活発なディスカッションを行いました。

第4回北秋田移住定住ネットワークスラム全体会議が、1月6日に市民ふれあいプラザで行われ、出席した移住サポーターの方々から活発な意見が出されたほか、今後の活動や交流事業について話し合いました。市のふるさと大使である豪風旭関の大相撲初場所応援ツアーが、1月14日と15日にかけて行われ、市長をはじめ市民16人が参加しました。両国技館で本場所の取組を応援したほか、夕食会では、豪風旭関を招いてツアーに参加した市民と交流が行われました。

内陸線再生支援室

秋田内陸線市場が、12月8日から

市民生活部関係

生活課

し尿処理施設建設工事は、多少雪の影響があるものの、1月末現在で進捗率が約17%となっています。

クリーンリサイクルセンターエネルギー回収推進施設は、適正な運転管理が恒常的に行われており、供用開始2年目に向けて順調に推移しています。

消費生活は、安全三法に基づく立入検査を12月27日に市内4店舗において実施し、日常使用する生活商品や暖房器具などの検査対象商品が全て適正に販売されていることを確認しました。



▲交通事故防止及び犯罪防止活動を宣言した安全祈願式典及び査閲式

安全祈願式及び査閲式が、北秋田地区交通指導隊連合会と防犯指導隊連合会の合同で1月6日に合川公民

館で開催されました。安全祈願式では、それぞれの連合会が活動の安全を祈願し、査閲式では服装及び規律の確認が行われ、それぞれの隊長が交通事故防止及び犯罪防止活動を宣言し、隊の意志統一を図りました。

市民課

個人番号カードの申請枚数は、1月末で3245枚、交付枚数は2646枚となっています。また、通知カードを受け渡しできずに市が保管している件数は95件です。

国民健康保険の加入世帯数は、1月末で4836世帯、被保険者数は7178人で、そのうち前期高齢者は4087人です。

ハローキティデザイン記念証の交付枚数は、1月末で出生記念証が112枚、結婚記念証が46枚の計158枚を交付しています。

後期高齢者医療制度の被保険者数は、1月末で7870人で、そのうち若年障害者認定数は199人です。

健康福祉部関係

福祉課

平成31年度保育所等の1月末時点での入所申し込み状況は759人となっており、平成30年度当初の入所児童数と比較して4人の増です。

高齢福祉課

福祉の雪事業は、1月末の登録世

帯は830世帯で、昨年度末より27世帯減少しています。内訳は、一人暮らしの高齢者世帯が656世帯、高齢者のみの世帯が142世帯、その他の世帯が32世帯です。

新年度から3圏域となる地域包括支援センターは、体制が円滑に移行するよう準備を進めています。

医療健康課

成人保健事業は、すこやか健康講座を、12月21日と1月16日に2回実施し、延べ159人が参加しました。北秋田市のちを支える自殺対策計画策定の一環事業として、市内小5年生と中学2年生を対象にいのちとこころの健康標語を募集したところ、285作品の応募がありました。今後は数点を2019年度保存版健康ガイドに掲載し、自殺予防について啓発していきます。

12月末のインフルエンザ予防接種者数は、高齢者が6791人、子どもと妊婦が3109人で、高齢者の肺炎球菌予防接種は496人が接種を受けています。

北秋田市地域医療連携センター事業は、市民公開講座を12月13日に文化会館で開催し、市内外の参加者約500人が認知症への意識の向上と理解を深めました。

献血推進事業は、12月末で718人の方に協力していただいています。

9日と1月19日から20日にJR東日本秋田駅東西連絡通路（ほぼろーど）を会場に開催され、秋田内陸線沿線の地場産品販売及び沿線の魅力紹介とPR等を行いました。

北秋田のおひなまつりが、2月17日から3月3日にかけて阿仁ふるさと文化センターで開催され、雛人形や高さ2・5メートルの巨大なつるし雛をはじめ御殿まり、押し絵など400点以上が展示されました。期間中は、内陸線の列車内を子どもたちが描いた絵やつるし雛で装飾した「おひな列車」を運行しました。



▲雛人形など多くの作品が並んだ北秋田のおひなまつり

財務部関係

財政課

平成30年11月1日から平成31年1月31日までの工事等発注状況（50万円以上）は33件、契約額は9億1361万4000円です。

第2回認知症部会ワークショップを1月19日に開催し、医療介護事業所から41人が参加して困難事例対応への研修等を行いました。



▲認知症について理解を深めた市民公開講座

診療所

11月から1月までの市立3診療所の外来患者数は次のとおりです。阿仁診療所は、内科1973人で前年同期比35人減、外科2164人で同69人減、歯科935人で同143人の増です。合川診療所は1906人で前年同期比254人減です。米内沢診療所は、内科3684人で前年同期比60人減、小児科881人で同123人増、整形外科699人で同106人減、脳血管外科129人で同63人減、心臓血管外科16人で同14人の減です。

阿仁診療所改築工事は、12月25日から着工し、11月末の完成に向けて工事を進めています。